

みちの会だより

第3号

1994年11月10日発行
地域開発みちの会

第8回 みちの会講演会

9月17日の講演会には、雨天にもかかわらず多数の参加を得、無事終えることができました。とても嬉しく思っています。皆様に心から感謝申し上げます。後期事業も楽しく進めていきたいと思っていますのでご協力をよろしくお願いいたします。

新しい家族への創造

— 性って なあに —

講師 滝井 なみき氏

1994年9月17日 於 大府市石ヶ瀬会館

講演内容



自分の子どもが生まれ、赤ちゃんを人間らしく育てるにはどうしたらいいだろうと思案していました。「いない、いない、ばあ」（童心社刊）を読みきかせし、これだ、と確信しました。1分間の読みきかせをする間に、人間らしく生きるために欠かせない問題がたくさん含まれています。以来子どもの本の威力に気づきその世界にのめり込みました。やがて、今、子どもたちが本当に幸せになる条件は、なんだろうと考えた時、「性教育の必要性」に突き当たりました。今、私は附属中学校で性教育を柱にした保健の授業に独自の指導内容を創り実践しています。

— 揭示資料 受精のしくみ —

中学校時代には男女とも、頭の中は異性のことでいっぱいになっています。幸せになるために人間らしい生き方を考えるために、早いうちに男女の身体のしくみを正確に教える科学教育が必要です。一回に射精された三億個の精子のうちのたった一つが受精し三億分の一の確率で生まれてきています。結局二億九千九百九十九万九千九百九十九分の代表が、自分であると知ると誰でも感動します。そのうえ母親の一生に予定されている四百個の卵子のうちの一つが掛け合わさると、もっと大変な確率で生まれたんだと、自分には運がついていると思ひ込みます。

この受精の仕組みから生命の誕生を学習したあと、ある中1男子は、次のような発言をしました。

「幼児期からあいさつが大事だと教えられ、ずっとあいさつ運動をして、人類みな兄弟って外国人とはキスまでやるのに、どうしてそれ以上したらいけないのか理解に苦しんだ。が、今の授業でやっと解った。人間は豚や魚や犬と違って誰とでも産んじゃいけないんだね。」

子孫繁栄で人間らしい生き方というのは、ここに差がある。この子どもの発想に感服し、私は性教育を勇気をだして社会に広めようと決心したものです。

中学生の頃は、勉強部屋に入っていると親は勉強していると思うけれど、大間違いでマンガの本を読んでいるし、頭の中は異性の事がよぎります。生徒間の会話で一番多いのはこのことです。そして、思春期の特徴として小さなところで悩むことが多くなります。

女の子は誰でも月経を嫌がり、不潔と思います。しかし受精卵は子宮内膜に着床し、月経のお陰で育ちます。そうすると月経の停止です。つまり誰でも受精卵の時は月経を食べていたことになります。この事実は嫌がっていた月経を少しは見なおします。また悩み多き少女は、ストレスをためたり、外見にこだわり過ぎ急激なダイエットをします。その時にも月経は止まります。なぜかと言いますと、お母さんは自分の母体を最低限維持するのに精一杯だからです。ストレス社会の現在では受験の不安で不眠になり止まってしまったデリケートな生徒もいました。

一部で性教育の実践に対して寝た子を起こす^ど論が有りますが、今の子どもは寝てないでしっかり起きています。だからこそ人間らしい生き方を考えるために科学教育の必要性があるのです。

この授業で自分が誕生したことに感動し、親のありがたみを察知し、親孝行を考え、世の中の役に立つような人間にならなきゃと、自分を大切にし、自立に向かいます。

動物には性欲があり人間の場合、他の動物と違うのは、この性欲を心と体でコントロールします。すなわち、自分の心と体の主人公になり、自分をよく知り、自分を敬い、自制心を養うことで心身共に自立します。これが性による自立教育です。

人間の性欲は0才の時からあります。おっぱいを吸うのは本能で、性欲です。指しゃぶりやスカートめくり、お医者さんごっこなどの遊びを通り抜けます。小学校五年生で約10%の男子が射精経験があり、初めての射精を精通と呼び、物事を良く知っている人を精通した人といいます。同じ言葉です。性的な興味も理知的な興味も同じ未知なものに対する知的探求心です。中学三年生では、80%が射精経験があり、中学生は射精を悪だと考えていますが、私は善だと教えています。便と同じで体中で溜まったものは排出しなさい。でも、これはプライベートが大切ですといっています。高校三年生では95%です。

女子の初めての初潮を初経と呼びます。中学三年生で95%です。からだの成長が変化するにつれ悩む子は多く、まだ発達段階にあって個人差の大きいことも原因になっていますが、男女とも自分に自信を持っていないことが多く、どの子にとっても性の悩みは深刻で、青春という思春期に心の問題や精神的な問題が起こってくるものです。それに追い打ちをかけるように親の中には、子どもを私物化したり、少子化ゆえの親の子どもに対する完璧主義や期待感の歪みで子どもの気持ちも考えず、つい平気で子どもの欠点をいってしまいがちです。勇気を与える言葉、子どもたちを安心させ将来への希望を持たせることが大切です。

そこで自分の得意なところを見付けさせたり、自信をもてるような声かけをたくさんすることで解消することがあります。その後パーッと悩みを消し高校受験に向けてがんばれた例はすくなくありません。また万一不合格になっても、どの人生もワンダフルと勇気づけることが大切です。

中学三年生の生徒たちは、一応に中年の性欲はほとんど無いのではないかと考えています。理由は両親の普段の露骨な会話を聞いていて、とても恋人どうしになれるとは思えないようで

思われます。その場合「若い女性になら…」という限定版ですが…。

日本PTA全国協議会の最近の調査で、そのテレホンクラブやツーショットダイアルの利用経験者の中に中学二・三年生の女子の四人のうち一人が電話をかけていたという発表がされ、非行につながる危険が大きいと心配されています。

性欲の違いから男と女の考え方の違いは、顕著です。高校生男子の異性接触欲は愛があるからが13%、女子では50%です。女なら誰でもいいと思っている男子が多いのです。男と女の考え方の違いを学習すると、自分を大事にするし、相手の人格をより理解しようとし、共に生きようとする共生教育になるのです。

人間は誰でも生まれて死にます。生と死は背中合わせです。どう生まれてどう死んでいくかを教えることも大事です。

実際に死んだ人に接する機会に出会えた子どもは、自分の死についても考える事が出来ます。身内の死体に触れるチャンスを与えられた子の、固かったり、冷たかったりという体験は一生忘れられない。そうすると、死に対する恐怖から他人様を死に至らしめるとか、自殺をしようとかしないでしょ。今の日本は学校教育だけでなく家庭教育までもが、勉強という学習のみに熱心で生や死を粗末に扱っているように思われます。ところが、昔は「赤ずきんちゃん」の世界が教育だったのです。途中怖い人（狼）が出現し、最後はハッピーエンドで終わります。昔話は勧善懲悪の世界で、行きて帰りし物語といえます。子どもはどんなに失敗しても帰る家があり、暖かく抱き締めてくれるお母さんがいるということは、子どもを自立へと向かわせるのです。自分の子を世界第一だと思い、生きているだけで素晴らしいという親子の一体感が大事です。失敗を恐れない子は冒険します。親に捨てられると思う子はおびえ冒険をしにくいものです。

愛は心の事です。生に心から変化した、りっしん偏を付けると性になります。精子は生死につながります。なぜ性教育が必要かの究極の願いは、どの子にも自分の人生は成功であったという実感を持って生きていてほしいということです。どんな風に人生の成功を得るかは誰と性交し続けるかに関わってくるのです。

質疑応答

(Q) 中・高校生など若い人が手をつないで歩いているのをどう思われますか？

(A) 人間的な感覚としていいと思います。シルバーエイジが手をつないでいる姿が一番素晴らしいと思います。

(Q) 出産の時、夫や上の子を立ち合わせるのをどう思いますか？

(A) これから、ごく普通に行われると思います。中学生になってはじめて性教育を受け自分の母親のワгинаから出産する場面を見せるのはショックかもしれません。けれ

ども性について素敵なものして捉える小さい時期には見せていいと思います。家族で見られることはとても感動深いことです。そういう場면을体験できた子は親子の絆がしっかりとできており成長してもよこしまな性情報に振り回されず、安定していると思います。

(Q) エイズについての指導はどうしたらいいのでしょうか？

(A) 性について、愛について、人間の幸せについてをしっかりと考える教育をした上で、エイズ教育をするといきてきます。

エイズの授業をするたびに、毎週毎週せいとたちの考えが高められていく手応えを感じます。教育の力ってものすごいです。。

一夫多妻の習性のある国では、エイズを防ぐためにコンドームをつけてほしいと夫に言うこともできません。また、患者の多い国では、介護に女性に関わるから、長年女性地位向上のために行動してきたのに台無しになります。

インドのように識字率が低く、教育を受けていない子の多い国ではエイズ教育はたいへんです。中国には12億の人民がいます。患者は増加しています。日本は教育がしっかりとしているのでエイズについてしっかりとした教育をすればエイズを防ぐ生活をするようになり、爆発的な増加は防げると思います。また、家の中で性やエイズについて語っている家庭は素晴らしいです。会話がいっぱいある家庭でないと、そんな会話になりませんか。

エイズワクチンや治療薬は難しいという現在、エイズのワクチンはエイズ教育です。

滝井なみきの訪問記

愛知県の土を踏むたび、私の中の母性が引き締まる。キュンとからだのどこかで縮む音がする。東京・名古屋・大阪を点で結んだ時、なぜか、名古屋が盛り上がっていく。まるで富士山の山頂のようだ。裾野はもちろん東京・大阪。会場でてきぱき動かれているいろいろな方とお会いした。そのたびにキュン、キュン。全員からキャリアの薫りや母性の香りを、私の動物的な勘が察知した。私に安心を与えてくれた。なぜか… そのことがずっと頭から離れない。

なぜ名古屋が山頂なのか、キュンは何の音？

先日のニュースで名古屋発の歴史雑誌が発売されるという。今の日本の基礎を築いた戦国時代の三英傑、秀吉、信長、家康を生んだ、この地から全国への発信だといっている。

そうか、この名古屋は、日本国の子宮なのだ。だから、あの方もこの方も、全員がお互いを育てようと母性を発信して、未熟な私までも大きく包んでくださったのだ。名古屋辺りは富士山の噴火口であり、また日本の子宮口であった。このつぎ何が生まれてくるか、大変楽しみな「みちの会」である。三英傑どころか、みちの会全員女傑誕生も夢ではない。どうも、iキュンは、子宮の縮む音らしい。

講演をとおして思う

金沢幹子

一冊の絵本『いない いない ばあ』に始まった「性ってなあに」の講演は、ユーモアを交えたユニークあふれる滝井先生の話術によって楽しく勉強させていただきました。

ところで、戦中、戦後に思春期を送った私は、親から性教育された覚えもなく、何となく関心を持ち始めた頃、先輩や友人との会話や教育の場で知識として学んだくらいで理解したように思います。今ほど情報も豊かでなく、まだ性に関する事からは、ベールに包まれた部分も多かったので問題もなかったのでしょう。

しかし、時代は変わり子供たちを取り巻く環境も一変した現在、嫌でも子供たちの目に触れる機会が多くなり、加えてエイズ教育が絡んでくると家庭における性教育は、滝井先生のおっしゃるとおり必要欠くべからざるものとなってきます。真剣に取り組まなければなりません。

では、どのように、いつ、どんな方法でとなると親は悩んでしまいます。一昔前の教育を受けたものは尚更だと思えます。そこで、段階を経て性に関する絵本が家庭の子供コーナーに備えてあれば、子供の成長に合わせ親子で話し合うきっかけができると思うし、子は性に関する悩みが生じたとき、親に相談できるので良い意味での親子関係が生まれるのではないのでしょうか。ともかく、家庭での性教育の必要性は理解できても、どう教育すれば良いのか戸惑っているのも現状だと思います。



「性ってなあに」を聞いて

加藤暉子

絵本『いない いない ばあ』の読みから始まったお話は、バイタリティーにあふれ、ユーモアいっぱい終始しました。性という私たちの年代では避けて通っていた問題を、スンナリ公然と話して下さったことに現代の性の科学教育が充実しているのだと思いました。

そして子供の成長に応じて、親子の一体間を大事にし、また昔話の勧善懲悪から学びとって将来への克服力と挑戦力を養うという話には私も共感しました。

現在、中学生と直接ふれあい、その中で自然に性の話から、自立心と男女お互いに思いやる人間教育を実践されている様子が良くわかり、「わが子がこういう先生に出会えたら・・・」と誰もが望んだのではないのでしょうか。

性教育が、生と死、家族愛と人間愛に結びつき、今求められているヒューマニズムに発展するのだと確信しました。

アンケートのまとめ

[回収数137]

問1、性別 男性 4 女性 133
 問2、年代 20代 6 30代 12 40代 53
 50代 49 60代 17

問3、内容

年代 項目	20代	30代	40代	50代	60代	合計
良かった	6	10	44	43	14	117
普通	0	2	7	5	3	17
悪かった	0	0	0	1	0	1
無回答	0	0	2	0	0	2

理由 良かった・楽しい話の中に人間の本質的なものを教わった。

（抜粋）・子育てに対するヒントを得た。

・性と愛について考え方が広がった。

・このような先生が学校にも絶対いてほしい。

・今までに聞いたことのない新しい性教育とモラルの大切さを学び感動を受けた。

・具体的で良かった。

・ノンフィクションである。

悪かった・怖い感じがする。

問4、関心の
あること
(2つ)

年代 項目	20代	30代	40代	50代	60代	合計
福祉	4	6	30	29	15	84
環境	1	4	26	23	11	65
人権や差別	4	4	15	8	2	33
医療	0	4	8	21	4	37
子育て	2	5	26	9	2	44
その他	0	1	3	0	0	4

その他——*老後について *国際的なこと *生き方、老人問題

*デス・エデュケーション（死の準備教育）

その他ご意見 18名から多くのご意見をいただいた。その中から抜粋。

・みちの会を知らない方が多いのもっと宣伝すると良いと思う。

・戦後の新しい社会感覚を私たちが知り、理解し、次世代へつなげる心広い橋渡しをみちの会が先導して下さい。

・手話が大変良かった。これを機会に勉強したいと思った。

・若いお父さんお母さんに聞いてもらう機会が欲しい。

・講師が大きな声でどなるように話すので、耳障り。気分が良くなかった。静かに話しても内容は伝わる。

・「性」が人の生きる中でこんなに大事だと思わなかった。このような講演を初めて聞いた。これからいろいろな講演を聞こうと思った。

・今日の話を、これから家庭教育で子供たち（小6、小3）に伝えていきたい。

・孫との会話の糸口として、おばあちゃんの立場から、気負いなく将来の道標の助言ができるので感謝している。

・どうして今の日本の文化は性をタブー視してきたのか、研究するとおもしろい。

学習会 講師との懇談

9月17日 於石ヶ瀬会館

出席者 37名

講師 滝井なみき氏

司会 近藤京子

近藤 アンケートの回収数は137件であった。これから午前中の講演を踏まえてみなさんと内容を深めていきたい。

福田顧問 滝井先生とは年齢差20才以上ある私が、鷹羽会長と滝井先生との出会いが縁となってこんなに良い講演を聞くことができた。これからもこういった出会いを大切にしたい。お話を聞いて物より心という時代になってきたことを実感している。

Q、ある高校生（女子）を持つ親のはなしである、両親のセックスを見ているのがわかった。その父親は「そんなに見なければ見なさい」というて見せたが、どう思われるか。

A、なるべく見せないようにするのが良いとされている。見られた場合「愛があるからするのよ」と心を示す必要がある。しかし、中学生は好奇心旺盛な時であるし、データにもあるように自分の親はセックスをしないと思っている子が多いので絶対見せないほうが良い。家庭の中で親はあくまでも親、教育者であってはいけない。

Q、夫が単身赴任で、母子相姦が多くなっているそうだが、それを防ぐ方法はないか。

A、外国では、父親による娘への性の虐待が多い。単身赴任の夫と妻がテレホンセックスすることも良いと思う。母子未着型に同性愛者が多い。はっきりとと拒絶することができ人間になることが大切。現在の性教育では「拒否する」ということを教えていない。

Q、国際エイズ会議に出席された感想は。

A、壇上からの呼びかけに自ら立ち上がったエイズ患者、HIV感染者を見て感動した。

Q、小学生にエイズって何と聞かれたら、どう答えたら良いか。

A、エイズも風邪のような病気のひとつであり、まだ薬ができていないので治らない病気であると答えれば良いと思う。

エイズがまだ身近なことではないと思っている人が多いが、同性愛でエイズに感染した人がある。その患者は、エイズとわかった時、残りの人生を大切に生きたいと思って、回りの人に知られないようにひっそりと相手の愛情だけを頼りに生活していると語ってくれた。

先生のパワフルさに心を奪われ、ショック状態になった皆様も多かったのではないのでしょうか。そのためか、質問が少なかったようです。午前の講演会、午後の学習会と長時間にわたり、ユニークにまたエネルギーに話を聞いた滝井先生に感謝申し上げます。



ボンジュール、フランス。

成田発、MOSCOW経由。13時間。機中から解放された私たちの、南フランスのマルセイユから10日間の旅は始まった。

華やかな都パリとは異なり、このあたりは豊かな自然と歴史の街である。旧港や寺院、イフ城など異文化を目のあたりにして感激だ。「スリがいるよ。」ここはスリの天国らしい。何度も何度も注意を受ける。

マルセイユから90Km北へ、アルルの町は古代港町として栄えたところ、ゴッホが愛し、「跳ね橋」等有名な作品を残し、そして精神を病んだところでもある。2000年の歴史を刻む「古代劇場」の屋外ステージ等、ローマ時代の遺跡が数多く残っており、「ローマ闘技場」は今でもここで闘牛が行われているという。

アルルよりソルグへ。

ここはアンティークの村である。平均300年以上経つという、石を積み重ねた建物が並ぶ。塀も垣根もみんな石積みであり、まさにアンティークの美しさである。

次は、中世の一時期法王が住んでいたアビニヨン。栄華を極めた町は、今でも堅固な作りの法王庁が、アビニヨンの橋（サンベゼネ橋）の向こうに見える。「アビニヨンの橋の上で輪になって踊ろう。」有名なこの歌を、いつしか皆が口づさみ、輪になって踊り出していた。みんなの顔が童女になっている。

そしてフランス国鉄SNFCで4時間、ディジョンに着く。ディジョンはフランスワインの主都である。

黄金の斜面といわれる13度の傾斜のあるこの丘は、石灰岩層の上にある一面のブドウ畑である。ブドウの木は、太陽の光線を有効に受けるため、1mくらいに揃えてある。石灰岩層の畑は昼間の熱を吸収し、夜間の変化を少なくする役目をしている。また、水はけを良くし、ある所まで行くと水がたまっていて、根は岩の間を深く延びて水を吸う。こうしたことが良いワインを生むということである。収穫する日は決められていて、9月20日より一斉に始まる。

1. 8ヘクタールから7千本のワインの限定生産である。1本10万円もするものがあるという。それぞれの家が、ワイン工場やワインセラーを持っていて、ヨーロッパで一番豊かな農家が集まっている。そのためかEUの統合に反対しているという。

南フランスの旅は終わり、TGV（新幹線）でマロニエの色づき始めたパリへ。ここはもうみんながご存知の通り政治、経済の中心地であり芸術の都、ファッションの街、そして世界文化の発信地である。パリでは、ランジス中央卸売市場、日経新聞パリ支局、ハイパーマーケット、ジェトロを訪問し、フランス経済財務局のお役人との懇談もし、大いに学び、偉大なパリの街に酔った4日間であった。



パリの街角にて

☆ フランス事情あれこれ ☆

- *人口 5,769万人(1993年)内パリ人口215万人。フランスは移民の国、国民の10人に一人は外国人である。
- *面積 552,000Km²(日本の約1・5倍)
- *フランスは輸送、交通、物流等ヨーロッパのヘソといわれ、政治もヨーロッパ(EU)の核となっている。
- *食糧の自給率130%農業国である。市場の価格は行政により、上限、下限が決められていて日本のようなセリはない。
- *権利意識 労働条件、社会福祉、教育環境等、自由と既得権の迫害にはとことん抵抗、自由を求める国であり、個人主義の国である。政治に対する関心が高い。
- *失業率 12.7% 25.0%(若者)
自分のプログラムがないと働かない。単純労働であれば十分仕事はあるが、プライドが高いので許さない。黒人の(イスラム系が多い)仕事は生まれながら決まっていて階層で差がきちっとしている。
- *原子力発電 78% 1KW 53チーム(10円)で日本の1/3
- *教育 義務教育は16才までの10年間である。この間小学校でも留年や飛び級が認められている。教育改革で、10月の新年度より、学校へ提出するような宿題は廃止された。5年間の小学校を終えた子供の1/3がフランス語を満足に読めないという事情から、国語教育に力を入れる教育方針に変更されたようである。体育は義務でないので、体育館や運動場はほとんどない。
学歴社会で、どこの大学のどの学部を卒業したかで将来が決まってしまう。大学の授業料は無料。
- *健康 健康指向が高まっている(自然食品等)
健康カード、ICカードで個人の情報をインプットする。ヨーロッパでは身分証明書を常に持っていなければいけない。持っていなければ留置されることもある。病気になったとき、ICカードで応急処置ができる。日本人のようにきれい好きではなく、石けん使用料に至っては1年で1本とか。
- *消費 節約化(悪く言えばケチ) バカンスや食費にかけるエンゲル係数は高い。
個人から個人へのマーケットが発達している。歴史を重んじ親から子へ伝える(使い捨てを嫌う)車は車検がないのでボロボロになるまで使う。大手スーパーやディスカウント店の影響で、個人営業が駄目になってきている。
- *税金 ヨーロッパで一番高い
住人税 44% 消費税 18.8%
- *華やかさの中で、フランスは軍事国家であることを忘れていた。様々な中で、規制や差別が見え隠れしている。

この旅は、(社)全国相談員協会の主催で、常任理事である油田さんのお誘いを受けて海外消費生活調査団の一員として参加させていただいたものです。

!! 元気丸のギックリ腰!!



水上規子

体には自信のあった私は、足掛け5年の老人施設での勤めを8月末で終え、4月から自由人となった夫と共通な遊びができると張り切っていました。

9月12日、今まで参加できなかった特養でのシーツ交換を仲間が驚くほどスムーズに終えその夜、体をねじった途端「ミジミジ」ときました。40代から4～5回目のギックリ腰です。今までは数回医者へ通えば痛みを忘れました。今度は10日以上たっても「ドーン」とした痛みが止まりません。「年かな」と思いながら気になり、友人のすすめで恵那の「〇〇接骨院」へ行くことになりました。中央線の各駅停車に乗り、初秋の景色を眺めているだけで痛みを忘れそうでした。

診察台にうつぶせに寝た私の上に馬乗りになった先生に力一杯押されると、痛くて思わず涙と声がでてしまいました。先生曰く「このまま放っておけば年を取ると歩けなくなりますよ。100%は直せないが、これ以上悪くはさせないから時々通っていらっしやい。」楽になった嬉しさに「はい」と答えてしまいました。それから3回、日毎に秋の深まる山々の景観を楽しみ、帰りには古い町並み(旧中仙道)を歩いたり、遊び半分で通院しました。

腰は人体の「要」です。いつまでも元気丸で過ごしたいので、私の恵那行きはこれからも続くでしょう。

楽しい生け花 参加者募集中!!

× マスリースと正月花

リース(荷造りテープとリボン.他E使って)

正月花(竹筒と和紙.松.他E使って)

石田流 鈴木良翠さんを囲んで

会費 材料とし ¥2500- (当日)

とき 12/17(土) 10:00~12:00

ところ 大府市石ヶ瀬会館 2F会議室

申込 鷹羽津代 (0562-47-2409)

11/30 までにTEL下さい

10月1日(土) 岩倉市で国際交流はなのきの会の国際フォーラムが開催されました。「国際交流から人間交流へ」一語ろう、これからの家族—をテーマに4名のパネラーによるパネルディスカッションでした。

バングラディッシュ出身のナシル・ウッディン・ジョマルダさんは、国際交流から人間交流ではなく、人間交流から国際交流であるべきだと言われ、我々とは違う視点から多くのことを指摘されました。そして、小牧工業高校教諭、清水良典さんは、言葉はあらゆる人間に開かれており、心を赤ちゃんのようにして人の言うことを聞き入れる勇気が大事であると話されました。岩倉市在住で国際結婚をされている飛田ローラさんは、違う文化の中で育った二人が生活をしていく困難さ、また結婚をして幸せなのではなく人としてどう生きていくかが大切なのであると、家族の中での個の大切さを述べられ思わずはっとしました。南山国際高等学校教頭の浅野尚さんの、国際化を考えるには、違いを認めること、区別をしないこと、の端的な言葉に、うんなるほどと納得しました。国際交流と角度は違うけれど、私たちみちの会が今年学んできた“人権”について改めて考えさせられました。

(鷹羽津代)

新年懇親会のおしらせ

時 平成7年1月7日(土)
午前10時30分(現地)
知多半田駅10:00 送迎バスあり
場所 ホテル小野浦
住所 知多郡美浜町小野浦
TEL 0569-87-0368
会費 5000円
出欠 11月末までに各地区幹事まで
内容 新役員選出
年間の反省
会食

お正月明け、新春の海を眺めませんか。
たくさんのご参加お待ちしております。

パン プ キ ング ラ タ ン

かぼちゃ	半分	ソース
シーチキン	大 1缶	卵 1個
玉ねぎ	中 半分	牛乳 大2
ビーマン	1個	マヨネーズ
		カップ1

かぼちゃを 3センチ角に切り湯がき水切りしておく。
玉ねぎのみじん切り ビーマンの細切りをサラダ油で炒め 塩コショウで味付けする。
かぼちゃとシーチキンと玉ねぎ等をさっくり混ぜ耐熱皿に盛る。
ソースをよく混ぜかぼちゃの上にかける。
粉チーズ パン粉を散らしオーブンで焼く。
200度で予熱し15分焼く。
熱々の美味しいグラタンの出来上がりです。



編集後記

季節は 秋から冬へ すべてを消化して足早に過ぎていきます。今回のみちの会だよりたよりはいかがでしたか。故ラジブ・ガンジー首相は云っています「女性はその国における良心である。我々の社会をまとめてくれているのは女性なのである」と。

次号の原稿は11月30日締切。平成7年1月7日の新年懇親会にお届けする予定です。皆様からの原稿をお待ちしています。

担当者 星 利子 〒476 東海市富木島町新道戈127-2 ☎ 052-601-2158
阪野信子 ☎ 052-892-9258 水上規子 ☎ 0569-35-2185
戸田幸子 ☎ 0562-84-1771 森田ひろ子 ☎ 0569-72-0898